

# FRONTIER21における弥生会計の運用について

## (達人CubeクラウドAP仮想化サーバーとの連動)

◆FRONTIER21上の弥生会計データから達人CubeクラウドAP仮想化サーバー(法人税の達人、内訳概況書の達人、消費税の達人)への連動をする場合、以下の手順でご利用ください。

※画面は 弥生会計24 / 法人税の達人(令和05年度版) です。

(サンプル) 共有フォルダ名:0033 目黒トレーディング ファイル名:目黒トレーディング(33期~35期)

### ■FRONTIER21で行う操作

①FRONTIER21のショートカットをダブルクリックして起動し、ログインします。



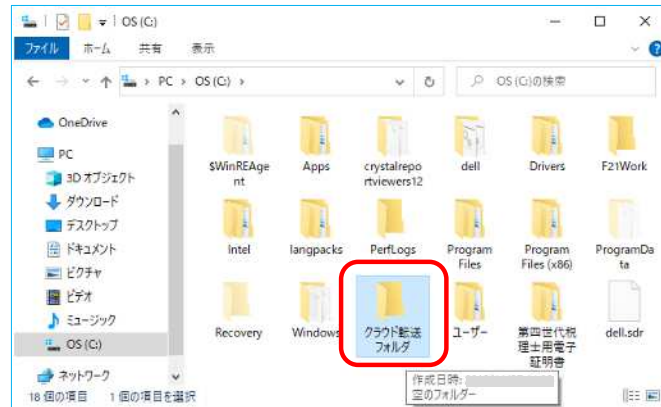
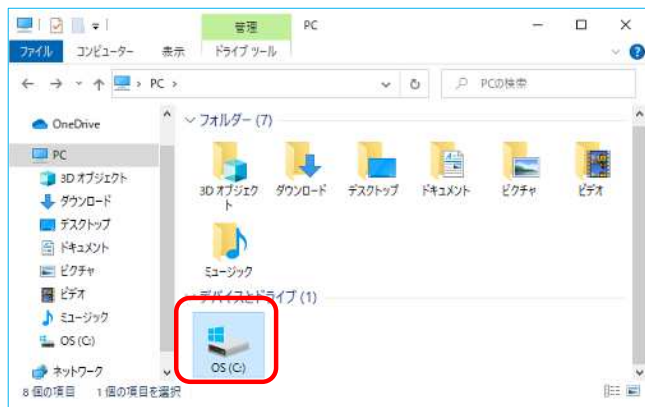
②[ファイルの一覧]画面で、フォルダ名[0033 目黒トレーディング]を選択します(①)。一覧に表示される【目黒トレーディング(33期~35期)】をダブルクリックして、起動します。ファイルを終了し、[状態]を【未送信】にします(②)。※送信はせず、右上の[最小化]ボタンをクリックしてください(③)。

◆初期設定の場合、右上の[×]をクリックしFRONTIER21を終了すると、ファイルは自動送信されますので、ご注意ください。



## ■事前準備

※ローカルPCのCドライブ直下に[クラウド転送フォルダ]を作成します。



## ■ローカルのPCで行う操作

※弥生会計データを中間ファイルで書き出します。

### ① (Windows10 の場合)

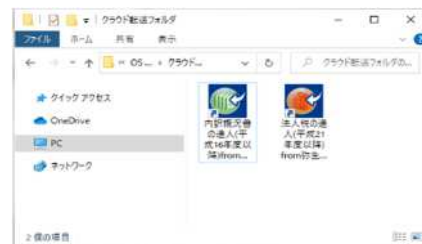
Windowsのスタートボタンをクリックします。

プログラムの一覧が表示されましたら、[達人シリーズ]フォルダ内に格納されている連動コンポーネント [法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.29.0.1以降)]をクリックします。



※連動コンポーネントが表示されない場合は、株式会社NTTデータ「達人シリーズ」ホームページ-[連動コンポーネント]画面からインストールを行ってください。

※連動コンポーネントを右クリック-[その他]-[ファイルの場所を開く]で表示される連動コンポーネントを [クラウド転送フォルダ]に格納しておく次回連動の際に便利です。



### ② [次へ]をクリックします。



- ③[データ種別の選択]画面で、[このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.29.0.1以降)

### データ種別の選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データの種別を選択してください。

このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する(Q) ①

弥生ドライブにある事業所データを転送する(D)

弥生オンラインの事業所データを転送する(Q)

②

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ④[データの選択]画面に、自動でFRONTIER21上の【未送信】状態のファイルが表示されます。【目黒トレーディング(33期～35期).KD24】を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.29.0.1以降)

### データの選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データを選択してください。

①

事業所データ	会計
目黒トレーディング(33期～35期).KD24	24

参照先(L)...

②

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ⑤[処理年度の選択]画面で処理年度を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.29.0.1以降)

### 処理年度の選択

「法人税の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度の選択	決算期	会計期間
第33期		R.03/04/01～R.04/03/31
第34期		R.04/04/01～R.05/03/31
第35期		R.05/04/01～R.06/03/31

①

②

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

⑥[決算の種類を選択]画面で対象となる期間を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

⑦[転送データの作成]画面で[参照]をクリックします(①)。

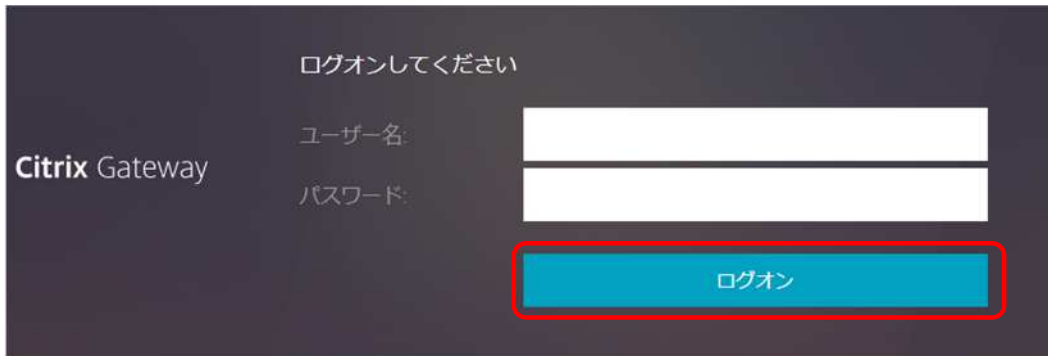
[クラウド転送フォルダ]を選択し(②)、[保存]をクリックします(③)。  
[作成開始]をクリックします(④)。

⑧[転送データの作成完了]画面が表示されましたら、[完了]をクリックします。

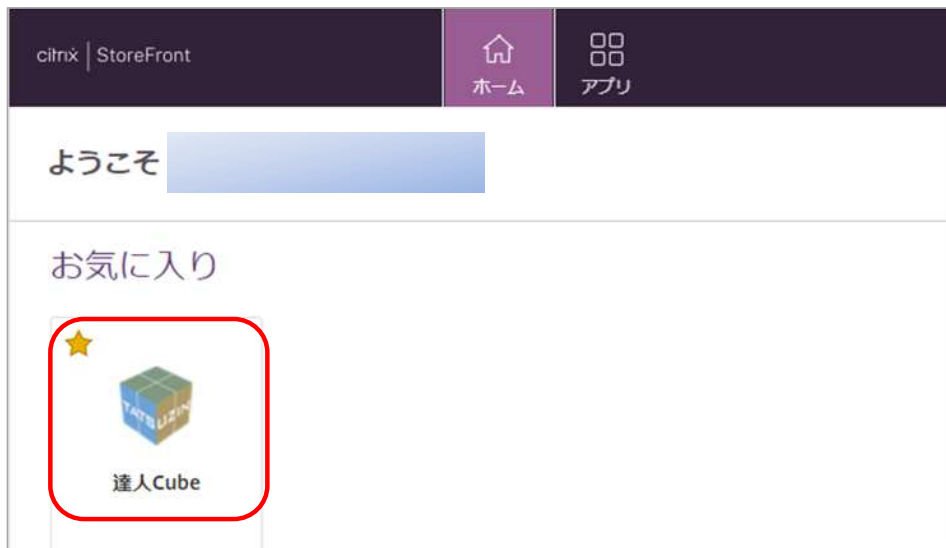
## ■クラウドAP仮想化サーバー上で行う操作

※書き出した中間ファイルをクラウドAP仮想化サーバー上で取り込みます。

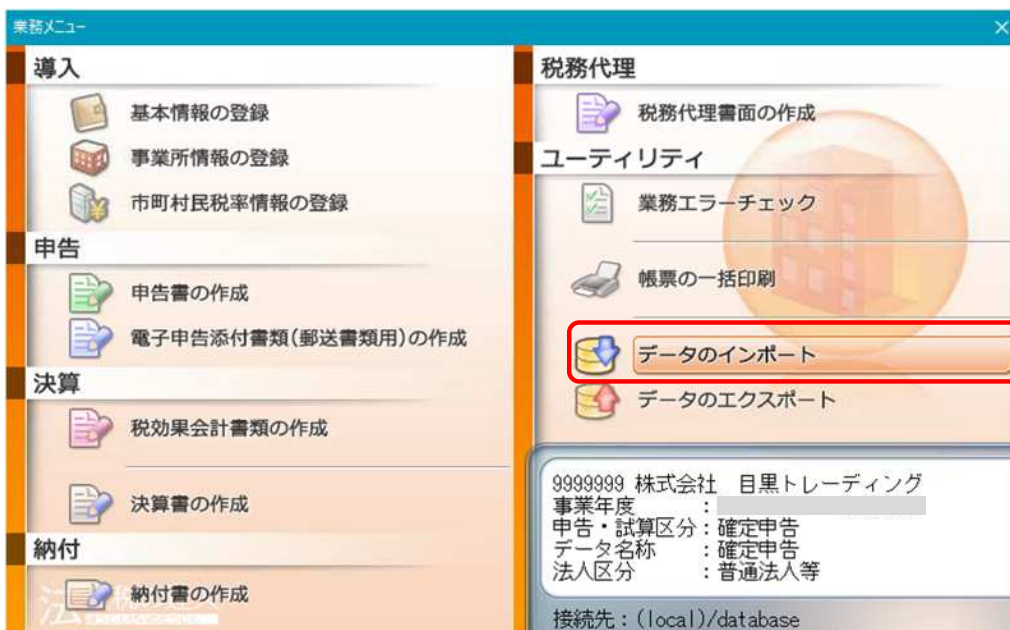
①クラウドAP仮想化サーバーにユーザー名、パスワードを入力後、ログオンします。



②達人Cubeを開き、ログインします。

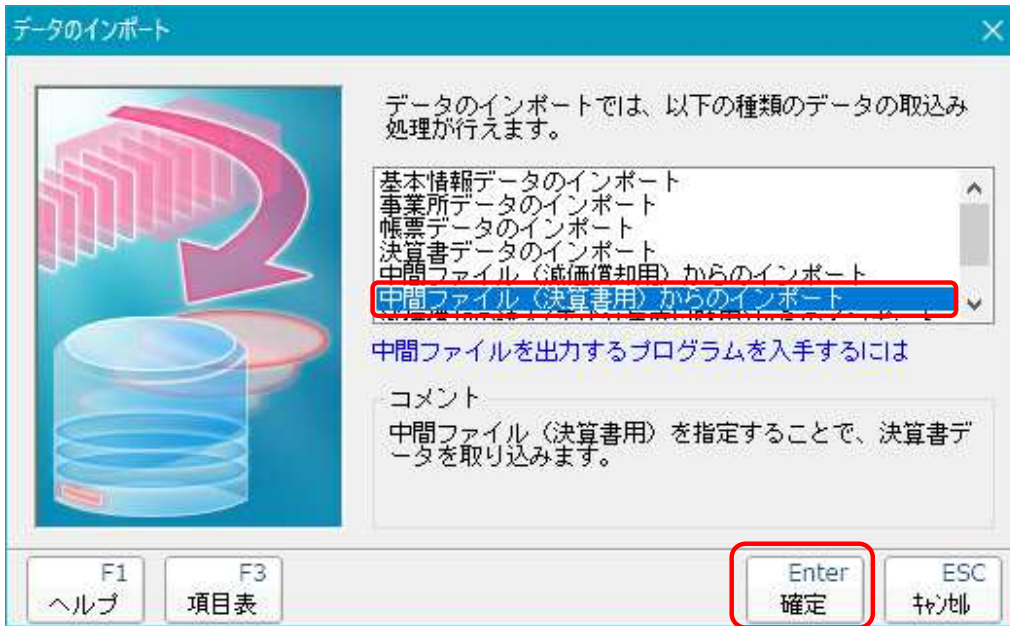


③法人税の達人からデータを開き、業務メニュー>[データのインポート]をクリックします。

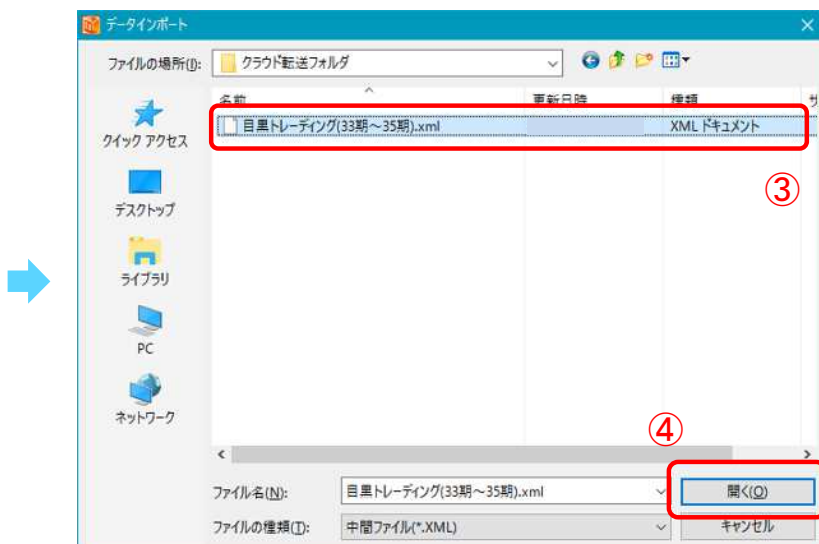
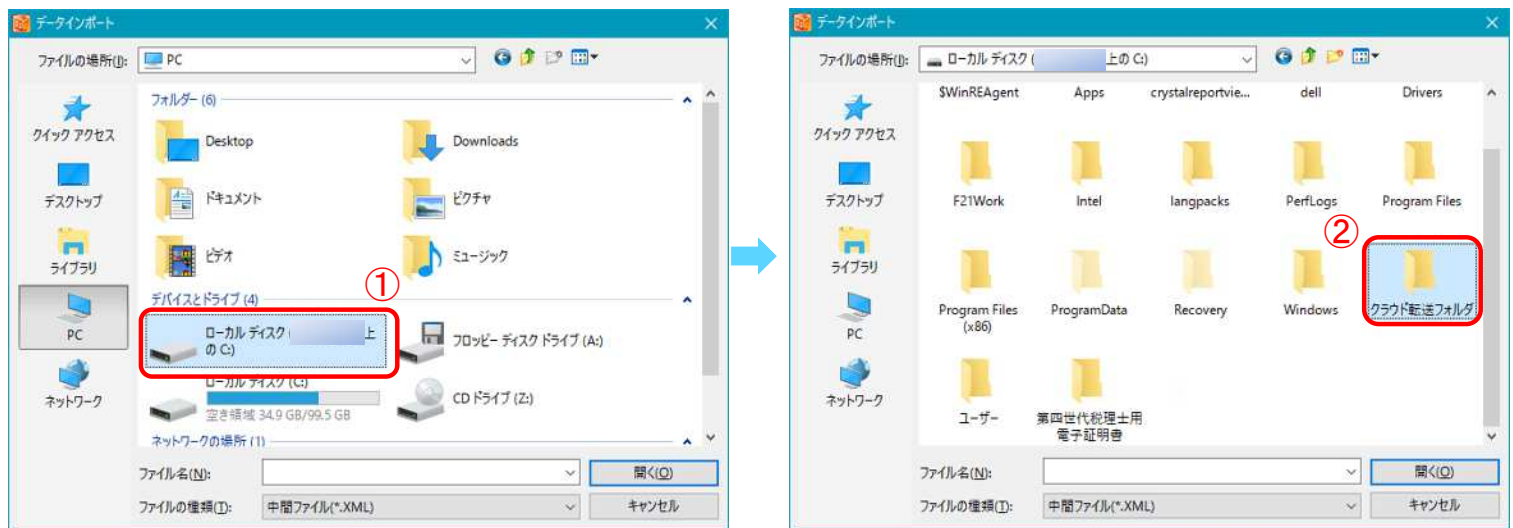




④[中間ファイル(決算書用)からのインポート]を選択し、[確定]をクリックします。



⑤[データインポート]画面で、[PC]-[ローカルディスク([PC名]上のC:)]を開きます(①)。  
[クラウド転送フォルダ]を開き(②)、[目黒トレーディング(33期~35期)]を選択し(③)、[開く]をクリックします(④)。



⑥ウィザードに沿ってインポート完了まで進んでください。

※注意※

連動後の詳しい手順については、[達人Cube]>[情報コミュニティ]内のマニュアルをご確認ください。

## ■最後に、FRONTIER21で行う操作

①連動操作が終わりましたら、FRONTIER21を開き、右上の[×]で終了します。

※ファイルは自動送信されます。



### ●本マニュアルについて

本マニュアルはFRONTIER21の操作方法を記載しています。  
マニュアル内の操作は、Windows10で行っています。

### ●商標について

本文中に記載されている会社名、製品名、ソフトウェアなどについては、各社の商標  
または登録商標です。

### ●著作権について

本マニュアルのすべての内容は、著作権法によって保護されています。  
株式会社オリコンタービルの許可を得ず、転載・複写・複製などはできません。

### ●免責について

本マニュアルに記載されている内容および仕様、デザインなどは、  
改良のために予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。